

KYOTO Technical Site

取材・文 竹中 聡 (本誌) 撮影 三國賢一

「絶対迷子にならないところ」 今はそれでもいいかもしれない

そこココで名前は聞くが実体を知らない人がまだ多い。既存のモールに対するアンチテーゼを孕み、数々の新機軸をトライする複合商業施設。グラウンドオープンから今までわずか半年余り。

「ビームスとジョージズが移ったところでしょう？」
「いやいや。それだけでは無いところをご紹介します。」

仮名S君。生まれは大正15年。

大正15年。その建物は電話局として生を受けた。仮にS君としよう。彼は昭和38年、京都市の有形文化財第一号となり、平成3年まで生まれた当時の仕事を全うする。姉小路、三条、東洞院、烏丸にまたがるS君の運営のためだけにN.T.T都市開発という会社ができ、一旦リタイアしたS君は市や商工会議所などの地域の有識者が知恵を持ち寄り、京都の活性化を目標にその後の人生を模索される。元米期待、注目されていた土地、建物であり、慎重に事を運ぼうとするうち、「どーする」「あーする」とつかみきれないまま日は過ぎる。結局S君の外壁以外の部分はあるいは平らになり、新築部分は駐車場として運営されるに至った。

五つ星のホテルだったかもしれない。

S君の試行錯誤は続く。S君が立つ(建つ)位置。当初の捉え方であった「ビジネス街の商圏。その「ビジネス街」という定義が怪しくなってくる。新時代の複合商業施設なるものを考える時期に來ていた。

平成8年、コンサルティングに踏み切る。「複合商業施設」「オフィスビル」そして「ホテル」。この三種が各々単独でもしくは組み合わせで検討された。この頃に「親風社中」という名前が聞かれるようになる。この組織は、ファッション業界人を含む前述の有識者に新たな名を連ねた人々である。「結成自体はどっかの飲み屋だったと思いますけど(笑)」とは新風館館長渡辺氏の言葉。

果敢にも新旧の壁に挑むS君。

京都、もしくは京都人の気質。「保守的で冒険心に乏しい」「ブランドに安心を求めめる」等々。そしてやたらと哲學的。そんな町にあってS君の仕立てが論じられた。

「新旧の融合」。京都で何度この言葉を聞いたことか。S君を取り巻くブレンデッドは思っていたことか。京都、いや、日本でも結局実現されてなくな

いか?。同感である。このテーマを与えられた有形無形の前提の始とは、時に抹殺臭いだけのものであり、時に実用に耐えない理論だけのものであった。果敢にもS君はこの「新旧のバランス」に挑むこととなった。

大人がいるから、子供がいる。

「大人と子供」という関係は相対的なものである。「大人がいるから子供がいる」のだ。20歳の大人もいれば、40歳の子供もいる。「新しい」と古いも同様。「間違っではないいけないものは、古き良きものがあるから、新しい良きものが生まれ、新しいものがあるから古き良きものが生かされるという事。今のクリエイター達にしろ、古き良きものをわきまを置いている」。前述渡辺氏の言葉。

「正反対のもの」を取って融合させて新しいものを作る。それは巨大な郊外型モールでも、ファッションモールでもなかった。そこにアミューズメントを加えた存在。新旧、昼と夜。それを融合するタワーに挑む。出て来た言葉が「アンチ・モール」。

10年越しの背骨は丈夫だった。

このロジカルなコンセプトワークがS君の背骨となり、そのマーチャントリングにも、ショップのオーナーを含む運営のプロである親風社中のメンバーが全てに関与した。曰く、「目指すは京都でありながら京都でない」「コミュニケーションシテイ」。

S君の一部になる(つまり出店する)ために必要な条件は一つ。「コンセプトの理解」である。自分さえよければ良しとする我が儘を言えない、そんなハードルも、蓋を開ければ京都を冷やかに見ていることが多い京都のショップより、東京からのオフィアの殺到を招いた。ブランド名ひとつとっても、皆S君用を持ち出した。

他方、S君の一部になりたいと手を挙げたビ

大切な人の病氣、癒されることを祈って……

皇室ゆかりの病氣平癒の神社

平安のはじめ、淳和天皇の皇女、崇子内親王が天然痘(疱瘡)を患われたとき、この石に祈願をされたところ、石が代わりに疱瘡を生じ、たちどころに内親王の病は治りました。

以後、当社は皇室から病氣平癒や災難厄除けの守護の神と崇められ、仁明天皇(承和五年七月)
後桃園天皇(安永三年七月二十三日)
仁孝天皇(寛政十二年二月二十一日)
敏宮(天保元年十二月二十一日)
和宮(弘化三年閏五月二十七日)
孝明天皇(慶応二年十二月二十日)と御祈禱を命ぜられてまいりました。

病氣平癒の靈石「疱瘡石」



そして神前の「靈石」は「疱瘡石」と呼ばれ信仰を集め、世の人々は病氣の平癒を願ってこの石を拝するようになりました。また都に疫病がはやる前には必ずこの石の表面がぬれたそうです。しかし江戸時代にその行方がわからなくなっていたのですが、昨年ある書物から「本殿内陣にあり」との記述から発見されたのです。このようなご由緒とご利益のある「疱瘡石」。広く皆様に伴んで頂こうと、下記の日の本殿内で公開しております。

公開日
毎月一日、十一日(ご縁日)と十五日

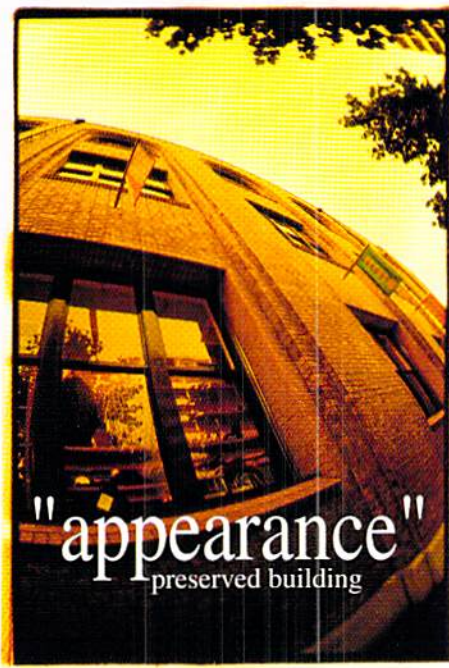
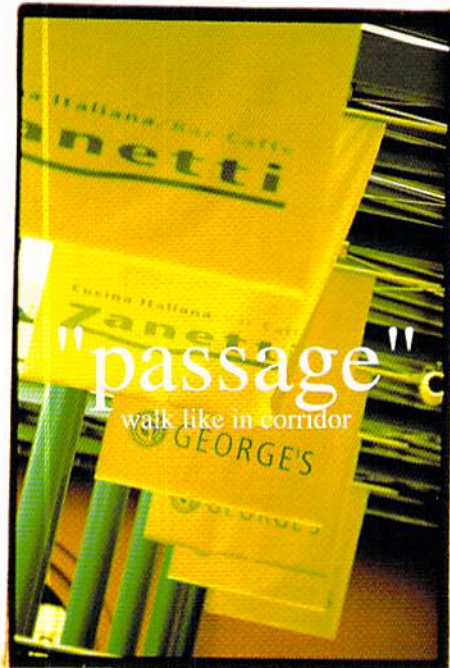
- 病氣平癒祈願の石は常時あります
- お問合せは電話またはEメールで。



西院春日神社

<http://kasuga.or.jp>

京都市右京区西院
四条佐井(春日)通上ル
Tel. 075-312-0474
Fax. 075-312-2670
E-mail webmaster@kasuga.or.jp



「良い才能を持った人が多いのに、何故世界的な人間が出てこない?」海外からのそんな声は横腹に堪えなかった。結論 京都のクリエイターは虐げられている。ソフトにペイする文化が欠如している。そう見える。この場所が京都に潜在するクリエイター達の応援を、インキューベーター的にしたい。そうすれば、イベントを通じて「解ってる者同士」のグレードの高い会話ができる。グレードの高い出会いがある。何か「新」しい事をスタートしたい。そうすれば何か違う「風」が吹くのではないかと?

かくして仮名S君には、「新風館」の名が与えられた。

「ムスとジョージズを代表とする、元来京都に籍を置くショップの数々。完成までに10年もかかったコンセプトのS君の背骨は非常に丈夫なものになっていた。」

遂に命名 S君改め「新風館」

「シティ」と謳うからには店があるだけではない。京都市は、政令指定都市の中でも公園が少ない町である。かくしてS君には中庭を中心とした「ロ」の字型の通路を持つ骨格を与えられ、中庭へは犬連れもOK。現在では1Fのアスクアジラフでも大同伴可能である。さらにその中庭への集客、それはイベントという形で実現されるのだが、現在までに行われたイベントにも、コンセプトワークの徹底が見て取れる。

「個性を大事に」。その割に市場は没個性と一極集中の様相。20代、30代の落ち着いた人間が行く場所が無い中、「ライフスタイル」を磨きに来て欲しい」という。

新風館の通路を、1〜3Fまで回廊のようにめぐれば、どのショップも外から丸見えである事に気付く。回廊を通る側も、店の中にいる側も、それでも緊張しないで見られる。中庭に配されたディレクターズチェアで堂々と過ごせるか。その境目が新風館を築しめるかどうかの分水嶺。

「下駄を飛ばしたくなりますね」と新風館を評した人がいるという。ただし名言。雨天時の施設内は、雨なら雨の楽しみ方がある。傘でファッションを楽しめばいい。そう思えるのが大切どころなのだ、と。

正直、今は遠巻きにこの建物を見ているだけの人が多いと思われる。アナタが京都人であるならば、その評は前述の通り。誰かが味見をして飲み込むまでは静観するも良いだろう。構造上「絶対迷子にならないこと」という評価だけでも良いだろう。慌てることはない。

ただし10年の暫定利用期間が設定された施設は今後9年余りで、徐々にセグメントはされていくだろう。自ら、そして他から。今現在を見逃したことを後悔だけは、されませんように。

下駄を飛ばしたくなりますね

- | | | | |
|--|--|--|--|
| <p>1F</p> <p>1 BEAMS BOY (M&Lセレクトショップ) TEL.075-257-8012</p> <p>2 BEAMS (M&Lセレクトショップ) TEL.075-257-8010-8011</p> <p>3 J.LINDBERGH (M&Lカジュアル、ゴルフウェア) TEL.075-257-8018</p> <p>4 DELUX COTES (M&Lカジュアル) 075-257-8020</p> <p>5.フルーリア (フラワーショップ) TEL.075-257-8022</p> <p>6.クリオブルー (レディースアクセサリー) TEL.075-257-8023</p> <p>7.ala faxala (レディース服飾雑貨) TEL.075-257-8024</p> <p>8.aria orich (レディース服飾雑貨) TEL.075-257-8025</p> | <p>9.P/V VENDOME (レディースアクセサリージュエリー) TEL.075-257-8026</p> <p>10.ボーカーフェイス (アイウェア) TEL.075-257-8027</p> <p>11.GEORGE'S with ask a graff (家具、生活雑貨、カフェ) 075-257-8028</p> <p>2F</p> <p>1.212 (ベージュカフェ) TEL.075-257-8030</p> <p>2.アダムズ ロペ (M&Lカジュアル) TEL.075-257-8032</p> <p>3.ル・クールブラン (レディースカジュアル) TEL.075-257-8033</p> <p>4.ロイヤルフラッシュLuxury (M&Lカジュアル) TEL.075-257-8034</p> <p>5.タバサ (レディースクロージング) TEL.075-257-8036</p> | <p>6.ヴェレジファンガード京都三条 (書籍、その他物販) TEL.075-257-8037</p> <p>7.NTWEST KARASUMA CAFE c/w/s (ショールーム) TEL.075-257-8038
TEL.0120-169-610</p> <p>8.DISEL (M&Lカジュアル) TEL.075-257-8039</p> <p>9.HALF PENNY (レディースカジュアル) TEL.075-257-8050</p> <p>10.FREE'S SHOP (レディースセレクトショップ) TEL.075-257-8051</p> | <p>3F</p> <p>1. TRANS-GENRE (証合所) TEL.075-257-8053</p> <p>2. GEORGE'S (家具、生活雑貨) TEL.075-257-8054</p> <p>3. Zaretti (イタリアン、イタリアンバルカフェ) TEL.075-257-8056</p> <p>4. Misa (創作和食) TEL.075-257-8081</p> <p>5. TAWAWA (カジュアルフレンチ) TEL.075-257-8058</p> <p>6. 胡同 MANDARIN (台湾チャイニーズ) TEL.075-257-8060</p> <p>7. 黒力屋 (麺専門) TEL.075-257-8077</p> <p>8. PaPa (洋食、ダイニングレストラン) TEL.075-257-8061</p> <p>9. ブレストルーム&スタジオ</p> |
|--|--|--|--|